

令和元年度

# 租税教育実践発表会資料



石巻市立蛇田小学校

教諭 久道 弥

## 1 はじめに

私たちは、法律の定めるところにより、国や地方公共団体に「税」を納めており、すべての国民がその義務を負う。私たちの生活を支える施設やサービスは、この税金によって支えられている。しかしながら、身の回りには税金によって成り立っている施設やサービスがありながら、児童はそれが税金で賄われていることを十分に理解しておらず、自らの生活と関連させて捉えることはできていない。また、現在、私たちは消費税や所得税、住民税など多くの形で税を納めているが、実際にどのように運用されているかということについては、見えにくい面もある。

今回の租税教育を通して、自らの生活を税金の関りについて関心をもたせ、児童には国民生活を支える一員であるということを理解させていきたい。

## 2 児童の実態（第5学年児童 男子90名 女子77名 計167名） 令和元年8月29日実施

課題に真面目に取り組もうとする児童が多い。反面、自ら様々な役割に挑戦したり、新しいアイデアを生み出したりすることを苦手と感じている児童も少なくない。今回、租税教育を行うにあたり、税金について以下の内容でアンケート調査を実施した。（回答数 162名、無回答 可）

	質問事項	回答
質問1	税金という言葉を知っていますか。	・ある（144名） ・ない（18名）
質問2	税金と聞いて、イメージすることはどんなことですか。	・お金（48名）・給料から引かれるもの（9名） ・高い（38名）・品物の値段が上がる（5名） ・増税（18名）
質問3	「〇〇税」のように、知っている税を書いてください。	・消費税（67名）・増税（14名）・自動車税（7名） ・所得税（4名）・脱税（2名）・税込み（1名）
質問4	税金はどこに集められていると思いますか。	・国（35名）・役所（6名）・警察署（5名） ・貧しい国（4名）・政府（4名）・国会（3名） ・県庁（3名）・銀行（3名）・募金団体（2名） ・大臣（1名）・財務省（1名）
質問5	税金は何に使われていると思いますか。	・国民の生活（20名）・道路工事（13名） ・建物の建設（11名）・高齢者や障害のある人の生活費（8名） ・公園の水道（4名）・教科書（3名） ・公務員の給料（2名）・薬の開発（1名）・医療費（1名） ・予防接種（1名）・オリンピック（1名） ・選挙費用（1名）
質問6	税金は必要なものだと思いますか。	・必要（122名） ・不必要（28名） ・無回答（12名）
質問7	質問6についての理由は何ですか。	（必要と答えた児童の理由） ・震災の支援に生かされるから ・公園や交番でもお金を取られることになるから

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急や警察なども有料になるから</li> <li>・全て自己負担になるから</li> </ul> <p>(不必要と答えた児童の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を多く取られるから</li> <li>・金額が少ないから</li> <li>・戦争のために使われることになるならいい</li> <li>・無意味に使われるから</li> <li>・分からないから</li> </ul>
質問 8	税金について知りたいことを書いてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ税金があるのかを知りたい。</li> <li>・どこに集められるのかを知りたい。</li> <li>・何に使われているのかを具体的に知りたい。</li> <li>・自分たちがいくら払っているのかを知りたい。</li> <li>・なぜ値上げ（増税）が必要なのかを知りたい。</li> </ul>

以上の結果から、児童の多くは「税金」という言葉は聞いたことがあるが、税金を納めることの目的、どのように生かされているかなどについては十分に理解できていない。また、税金の使われ方などを十分に理解できていないことから、税金は「高い」や「商品の値段が上がる」など、マイナスのイメージをもつ児童が多い。しかし、今回のアンケートを通して、児童は自分が税金について分からないことが多いということに改めて気づき、活用のされ方も知らずに納めるのではなく、「税金についてよく知りたい」という意欲があることが分かった。児童の問題意識の高まりを生かしながら、税金についての正しい理解につながるようにしていきたい。

### 3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、次の3点に留意して学習を進めていく。

- ① アンケート結果を児童に示し、税金に対する現在の認識を共有できるようにする。5年生の現段階では、分からないことが多いということを改めて確認し、問題意識をもって学習に臨めるようにする。
- ② 「消費税」などを例に挙げ、自らも納税者の一員であるということを自覚させ、税金の活用のされ方について興味をもって学べるようにする。
- ③ 税金についての正しい知識が得られるよう、具体例を明示し、より実感のある学習となるようにする。

### 4 指導計画（1時間扱い）

時間	学習内容
事前指導	「税に関するアンケート調査」実施
1 租税教室	「実践授業」 私たちの生活と税金 石巻法人会青年部 加納 茂信 様 ほか5名
事後の活動	税に関する標語づくり

## 5 実践内容

### 【租税教室：私たちの生活と税金】



#### (1) 目標

税の種類や税金の使われ方を知り、自らの生活に税金が密接にかかわっていることを理解する。

#### (2) 実施期日

令和元年9月4日（水）3校時

#### (3) 実践の様子

段階	学習活動	学習の様子・主な児童の反応
導入	<p>1 税に関するアンケートの結果を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金はなぜ必要なのだろう。</li> <li>・どこに納めているのだろうか。</li> <li>・どんなことに使われているのだろうか。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">税金について知ろう。</div> <p>3 ゲストティーチャーの紹介</p> <p>○法人会の説明 ○自己紹介</p>	 <p>○法人会についての説明を聞く。</p>
展開	<p>4 税金について知る。</p> <p>(1) 税金と私たちの生活</p> <p>○税金は私たちの生活に生かされているものであることを知らせ、興味を高める。</p> <p>(2) 税金の種類と納付先</p> <p>○税金の具体的な種類を知り、税の種類によって納付先が異なることを知る。</p> <p>○「消費税」などを例に、小学生を含む小さい子どもであっても納税者であることを理解する。</p> <p>(3) 税金の使われ方</p> <p>○図から、税金が使われているものを考える。</p> <p>○税金が具体的にどのように活用されているかを知る。</p> <p>○石巻市の例を参考に、納められた税金がどのように予算化され、運用されているかについて資料をもとに知る。</p>	 <p>○色分けされた資料を見て、納付先について理解する。</p> <p>赤色：国 黄色：県 青色：市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の種類ってこんなにたくさんあるんだ。</li> <li>・種類によって、納める先が違うのか。</li> <li>・国や県、市町村によって使い方も違うのかな。</li> </ul>

	<p>5 DVDを視聴し、税金の必要性について考える。 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ○税金がない社会の様子を具体的に理解し、その必要性を実感する。</p> <p>6 1億円のレプリカをもつ。 ○1億円のレプリカを見たり、実際に持ったりして みることで、国民から集められたお金を有効に使 ってほしいという気持ちを高める。</p>	 <p>○税金がない世の中の問題点を考える。 ・税金がなくなると、困ることがたくさんあるんだ。 ・身の回りには、税金で作られたものがいっぱいあるんだ。</p>  <p>○1億円という金額を見たり、持ったりして体感する。 ・重いな。 ・1億円でどんなことができるのかな。</p>
<p>まとめ</p>	<p>7 学習のまとめをする。 ○アンケート結果を改めて確認し、学習したことを振り返る。 ○税金の必要性に気付き、納税者の一員であることを再確認する。</p>	<p>・税金は私たちの生活のために必要なものだ分かった。 ・税金のことについて、もっと詳しく知りたい。</p>

## 6 事後指導と振り返り

租税教室は5学級合同で行い、その後、学級ごとに学習の振り返りをし、感想をまとめた。多くの児童が、学習を通して税金の必要性に気付くことができたと思われる。

(学習をふり返って 児童の感想)

税は、最初はあるのはちょっとイヤだなと思ったけれど、今日の話を聞いてみると、税って実はとても大切なものなんだと思いました。私も日本国民の一人なので、税を大切にしたいと思いました。

税金は、学校の物やしん災のふ、こうのためなど身の回りにある物の多くは税金が使われていて税金がないといつも通りのふうの生活ができなくなってしまうので税金は、必要なものなんだと分かりました。税金は国や県におさめているとも分かりました。

消費税がないと学校のついでもいず全部お金をほらわなければならぬ。消費税がないと右めなだかと思ひました。おじいちゃんやおばあちゃんもはたかなおしいけなひので消費税はあつたはいいと思ひました。

税金のことが学習できてよかったです。信号など身証なものも税金で重かいていと知つてすごいなと思ひました。税金の使ひ道は国会で決められてるのはびっくりしました。もっと色々なことを知つたと思ひました。

税金はとても大切で、必要なものだと思います。税金はいろいろな種類があり、税金は国会で使いみちを決めていると分かりました。

税金はあつた必要ないと思つていたけど税金がないと、なんでもお金がかかるから税金はとても大切なものだということが分かりました。

(税に関する標語)

- ・税金は みんなの暮らし 支えてる
- ・税金は 幸せつなぐ バトンだよ
- ・税金で 笑顔が増える 町づくり
- ・税金で 公共施設 管理する
- ・税金で みんなの笑顔 増やそうよ
- ・税金も たくさん積もれば 宝になる
- ・税金は 国民みんなの 幸せだ
- ・工事中 これも税金 使つてる

## 7 成果 (○) と課題 (●)

- 税に関する関心が高まり、自分たちの身の回りには税金で賄われているものが多くあることに気付かせることができた。
- 税金のない社会について、DVD視聴を通して具体的に考えさせた結果、税金の必要性を理解させることができた。
- 本校では、毎年6年生が実施している租税教室を5年生で実施した。やや難しい内容ではあったが、法人会の方に分かりやすく説明をしていただき、税に関する関心を高めることができた。
- 今年度の租税教室に関する記録を残し、確実に引き継ぐことによって、社会科の学習に生かしたり、次年度の租税教室では発展的な内容を学んだりするなど、今回の学習の成果を生かしていきたい。

## 8 実践を振り返って

6年生の後半に学習する「税金」に関する内容を、今回は租税教室を通して5年生で学習した。実施に当たり、「増税」や「公共工事」を例に挙げ、具体的に税金について考えさせながら事前にアンケート調査を行ったが、やはり税に関する知識はほとんどなく、関心も低いことが分かった。しかし、アンケートを進めていく中で、児童は自らが税に関する知識がないまま納税をしているということに気付き始め、租税教室への学習意欲が高まっていったと感じた。租税教室では、学級担任ではなかなか用意できない資料を使って、児童の興味関心を高めながら進めていただいたことにより、アンケートの中で挙げていた疑問については、ほとんど解決できた。また、税に関する正しい知識を身に付けるだけでなく、今回の学習を通しての一番の成果は、税に関する関心が高まったことだと感じている。税に関して考えるきっかけとなり、5年生での租税教室はよい学びとなった。